

旭川市報道依頼

各報道機関 様

KJ00433357

2025年4月7日

発信課	環境部環境総務課
担当者	真坂 俊樹
連絡先	電 話 0166-25-5350(内5256)
	F A X
	E-mail kankyo_hozen@city.asahikawa.lg.jp

分 類	イベント・行事 ☒ 募集 ☐ 契約・入札 ☐ 会議・説明会 ☐ その他 ☐
日 程	令和7年4月25日 19時30分 ～ 令和7年5月16日 20時00分
発表項目 (行事名)	アズマヒキガエル捕獲体験学習会の実施について
概 要 (趣旨・日時・ 場所・内容等を 記入すること。)	1 背景 アズマヒキガエルは元々北海道に生息しておらず、本州以南から人の手で持ち込まれたカエルであり、在来生物の捕食、在来生物との競合・駆逐から地域の生態系のバランスを乱すおそれがあるため、北海道では「指定外来種」として扱われている。 2 目的 市民協働によるアズマヒキガエルの持続的な防除環境づくりを目的とし、地域住民等を対象に防除活動を通じた市民意識の向上、活動を担う人材の発見や育成を図る。 3 内容 (1) アズマヒキガエルに関する講座 講師：北海道教育大学旭川校 准教授 奥寺 繁 氏 ※5月9日(金)、5月10日(土)のみ (2) アズマヒキガエルの捕獲体験 公園内を歩き、アズマヒキガエルの捕獲を行う。 3 日程・場所 令和7年4月25日(金) 北彩都ガーデン(集合場所：ガーデンセンター) 令和7年4月26日(土) 東部中央公園(集合場所：テニスコート前駐車場) 令和7年5月9日(金) 北彩都ガーデン(集合場所：ガーデンセンター) 令和7年5月10日(土) 北彩都ガーデン(集合場所：ガーデンセンター) 令和7年5月16日(金) 神楽岡公園(集合場所：緑のセンター前) ※申込者数が一定数に満たない場合や天候(荒天、低温等)によっては中止・順延となる可能性あり。 4 持ち物・服装 懐中電灯、軍手、虫避けスプレー、雨合羽、長靴及び汚れてもいい服装 5 定員・申込 定員：各日20名(延べ100名) 申込先：環境総務課 電話0166-25-5350 申込フォーム：https://logoform.jp/form/iLZf/982088 6 主催・共催 主催：旭川市 共催：上川総合振興局
添付資料	有 ☒ 無 ☐
報道(取材)に当たってのお願い	当日の取材対応可能です。取材を希望される場合は事前に御連絡ください。
備 考	

アズマヒキガエル

捕獲体験学習会

主催：旭川市 共催：上川総合振興局

北彩都ガーデン 4月25日（金）

5月 9日（金）※講座あり

5月10日（土）※講座あり

東部中央公園 4月26日（土）

神楽岡公園 5月16日（金）

※申込者数が一定数に満たない場合や天候（荒天、低温等）によっては中止・順延となる可能性があります。

時 間 5/9, 5/10 19:00~21:00(講座あり)
その他の日程 19:30~21:00

講座講師 北海道教育大学旭川校 准教授 奥寺 繁 氏

持ち物・服装 懐中電灯、軍手、雨合羽、長靴、汚れてもよい服装

集合場所 神楽岡公園：緑のセンター
北彩都ガーデン：ガーデンセンター
東部中央公園：公園駐車場（テニスコート近く）

参加上限 各日20人まで（先着順）

内 容 アズマヒキガエル講座（講座ありの場合）
公園内でアズマヒキガエル捕獲体験

申込方法 申込フォームから申し込み または
下記担当まで電話

担 当 旭川市環境総務課 0166-25-5350

申込フォームはこちら



指定外来種アズマヒキガエルについて

アズマヒキガエルは本州に広く分布しますが、北海道においては、津軽海峡を越えて人為的に持ち込まれた外来種です。北海道生物多様性保全条例に基づく「指定外来種」として、次のとおり取り扱うよう定められています。



1. 野外に放つことを禁止。
2. 飼養等する場合は「特定飼養等施設」に収容する。
3. 販売業者は指定外来種の購入者に対し、上記2点について説明する。

なお、指定外来種を野外に放つこと等の行為は、中止命令を受けることなどがあり、違反すると、罰則（30万円以下の罰金）を受けることがあります。

アズマヒキガエルの特徴

- ずんぐりした体形の国内最大級のカエル。（頭胴長 8～16cm）
- 目の後方に大きな分泌腺をもち、身を守るために白い毒液を汗のように分泌することがある。毒液に素手で触ると手が荒れることがある。
- 背面に多数の丸い小隆起、腹面に白く不規則な小黑斑をもつ。
- 長いひも状のゼリーに包まれた卵（10、000 個程度）を産む。ふ化までに要する期間は、7～10 日。

アズマヒキガエルの行動

- 主に陸上で生活し、極端な乾燥下でなければ生存可能。（水辺を必要とするのは幼体まで）
- 昼間は暗い場所（石の間や植え込みの中など）で眠り、夜になると動き出す。（夜行性）
- 地面を這って移動し、昆虫・ミミズなど動くものは何でも食べる。ジャンプ力が弱い。
- 春に冬眠から覚めると、池や水たまりなどの産卵場所へ移動する。
- 体が大きい割に鳴き声は比較的弱く、「クックックッ・・・」と聞こえる。
- 繁殖行動を終えた個体は産卵場所から分散し、もとの陸上生活に戻る。